

MOOER

VGE 250

Amp Modelling & Multi Effects

取扱説明書



目次

ご使用上の注意	01
特徴	02
トップパネル	03-04
バックパネル	05
ホームディスプレイ	06
セットアップ	07-12
プレイ	13
プリセットの編集	13-15
エフェクトブロックのON/OFF	14
詳細な音色設定	14
エフェクトブロックの接続順	14
保存	15
TONE CAPTURE	16-17
チューナー	18
RHYTHM	19
ルーパー	20
ドラムマシンとルーパー (Jamモード)	21
GLB-EQ	22
FX LOOP	23
エクスプレッションペダル	24-27
キャリブレーション	24-25
ボリュームペダル	26
ワウペダル	26
マージマージ	27-28

CTRLセッティング	29
システムセッティング	30-36
INPUT LEVEL	30
USB AUDIO	31-32
TAP TEMPO	33
MIDI SETTING	33-34
CAB SIM THRU	34
TRAI	35
LOOPER MODE	35
SCREEN	36
RESET	36
エフェクトリスト	37-49
スペック	50

ご使用上の注意

お使いの前にお読みください

電源

Mooer GE250は、レギュレートされたセンターマイナス9V DC、1A アダプターを接続します。電池はご使用になれません。アダプターを接続する際は、必ずセンターマイナスDC9Vであることを確認してください。それを越える電圧を供給すると、本体が破損したり、火災の原因となることもあります。アダプターを間違えたことが原因の故障は保証対象外となります。

接続

機器との接続や取り外しを行う際は、必ず電源をOFFにして行って下さい。電源を入れたままで接続や取り外しを行うと、機器が損傷する場合があります。移動や持ち運びを行う際は、本体から全てのプラグを外して下さい。

クリーニング/メンテナンス

クリーニングを行う際は、柔らかく乾いた布を使用してください。必要であれば、少し湿らせた布を使います。クレンザーやアルコール、ペイントシンナー、ワックス、ソルベント、洗剤、また化学物質を含んだクロス等は使用しないで下さい。

他の電子機器による干渉

ラジオやテレビなどの近くで本機を使用すると、電波による干渉を受けることがあります。ご使用の際はラジオやテレビなど、電波を発したり受信する機器の近くで使用しないで下さい。

ご使用環境

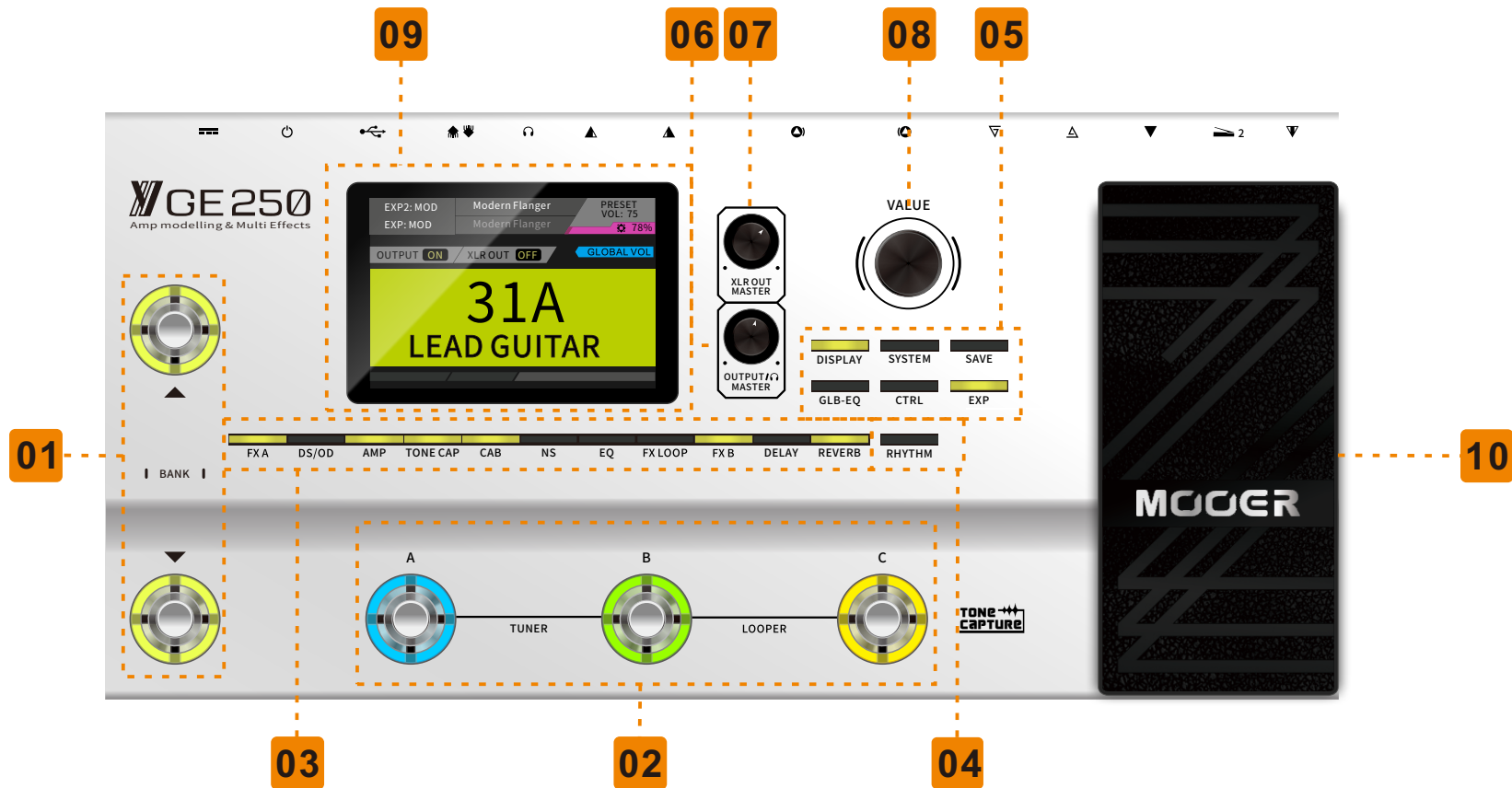
変形や変色など、損傷を避けるため、下記の環境での使用はお控え下さい。

- 直射日光の当たる場所
- 磁場の強い場所
- 埃の多い場所や汚れのひどい環境
- 強い揺れやショック
- 放熱するものの近く
- 高温多湿な環境
- 湿度が高く、湿気の多い場所

特徴

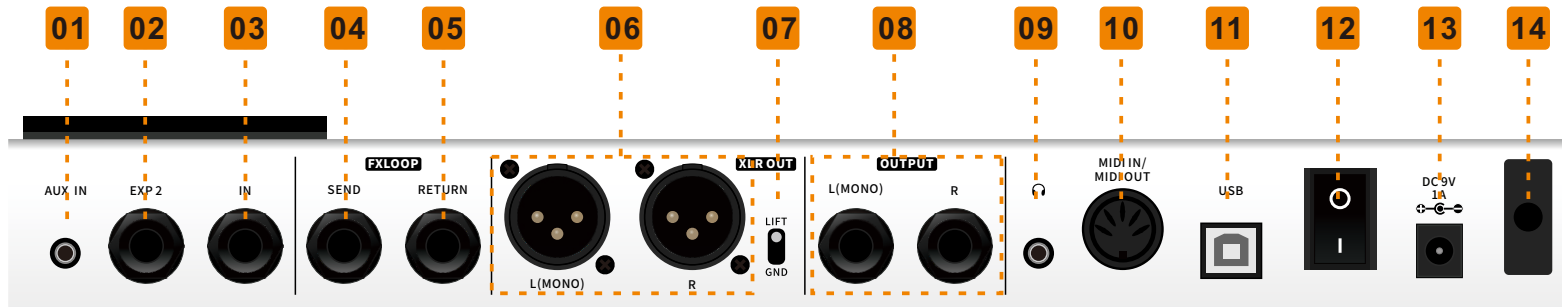
- Mooer non-lonerテクノロジーによる70ハイクオリティアンプモデルに加え、エディタから追加アンプモデルをロード可能
- 32IRベースファクトリースピーカーキャビネットにより、リアルチューブアンプのフィールとダイナミクスをエミュレート
- 2048サンプルのサードパーティIRをロードできる10のユーザースロットを搭載
- 11タイプのエフェクトモジュールに180種類のハイクオリティエフェクトを収録し、人気のエフェクト、ペダル、ラックやクラシクトーンをカバー
- TONE CAPTURE機能により、リアルアンプのサウンドをキャプチャして新たなアンプモデルとして登録可能
- 85バンク×3パッチの255プリセットを保存可能
- エフェクトチェインの位置を変更できるプログラマブルエフェクトループによる自由度の高い4ケーブルメソッドシステム構成
- ステレオアウト（1/4インチ・XLRアウト）
- MIDI IN/MIDI OUT
- グローバルEQ機能によりメインアウト、ヘッドフォンアウト、XLRバランスアウトを個別にEQ設定可能
- 60ドラムマシンと10メトロノームを収録する新しいリズムモジュール
- 各エフェクトモジュールのON/OFFやタップテンポ機能を割り当てられるCTRLファンクション
- PRE/POSTモードを選択できる70秒までのルーパー
- ディレイ/リバーブエフェクト用Trail機能
- ダイレクト、低レイテンシUSBオーディオインターフェイスにより、「one-stop-shop」でのギターレコーディングに対応
- エディタソフトによりコンピュータがオールインワンワーキングステーションに

トップパネル



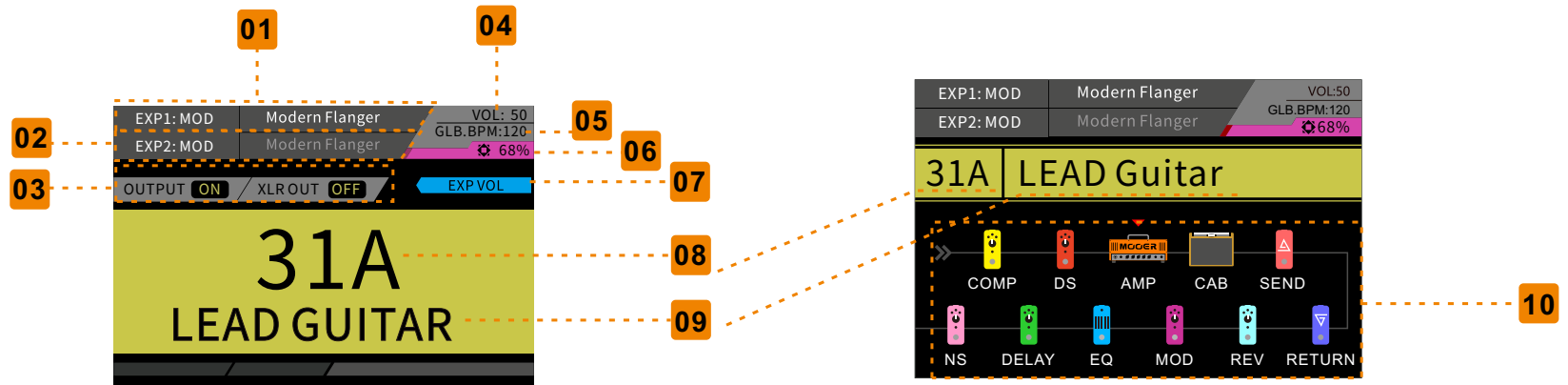
- 01 **BANK UP/BANK DOWN フットスイッチ:** トスイッチ: 85のバンクをフットスイッチで切り替えます。
- 02 **A/B/C フットスイッチ:** バンク内のプリセットA、B、Cを選択します。
- 03 **エフェクトブロック:** ボタンを押すと、各エフェクトブロックを選択し、エディットメニューに入ります。再度ボタンを押すと、そのエフェクトブロックをOFFにします。
- 04 **Rhythm:** ドラムマシン/メトロノームボタンです。ドラムマシン/メトロノームのON/OFFを行います。
- 05 **Editorボタン**
 - Display:** プリセット/エフェクトチェインディスプレイページに入ります。
 - SYSTEM:** システムメニューに入ります。
 - SAVE:** 現在のセッティングをプリセットに保存します。
 - GLB-EQ:** グローバルEQセッティングメニューに入ります。GLB-EQはXLR OUT、OUTPUT、PHONESアウトプットに対応します。
 - CTRL:** フットスイッチコントロールメニューに入ります。
 - EXP:** エクスプレッションペダルセッティングメニューに入ります。
- 06 **OUTOUT/Headphone/🎧 Master:** OUTPUT、PHONESアウトプットに対応するマスターボリュームノブです。
- 07 **XLR OUT MASTER:** XLR OUTのボリュームノブです。
- 08 **VALUE:** 様々なパラメータや値を編集するエディタノブです。
- 09 **3.5" TFTディスプレイスクリーン**
- 10 **エクスプレッションペダル:** エクスプレッションペダルはワウやボリュームペダル、様々なパラメータのコントロールに使用します。

バックパネル



- 01 **AUX IN:** 外部メディアデバイスを接続してオーディオを再生する1/8インチ (3.5mm) ステレオミニジャックです。
- 02 **EXP2:** 外部エクスペッションペダルを接続する1/4インチステレオフォンジャックです。
- 03 **IN:** 楽器を接続します。
1/4インチモノラルフォンジャックで。
- 04 **SEND:** 外部エフェクトを接続したり、4ケーブルメソッドで使用するエフェクトループです。SENDは外部エフェクトのインプットに接続する1/4インチモノラルフォンジャックです。
- 05 **RETURN:** 外部エフェクトを接続したり、4ケーブルメソッドで使用するエフェクトループです。RETURNは外部エフェクトのアウトプットに接続する1/4インチモノラルフォンジャックです。
- 06 **XLR OUT:** XLRバランスドアウトプットジャックです。
- 07 **GND/LIFT switch:** XLR OUTのグラウンドリフトスイッチです。
- 08 **OUTPUT:** 2×1/4インチモノラルフォンジャックのアンバランスドアウトプットです。
- 09 **PHONES:** 1/8インチ (3.5mm) ステレオミニジャックのヘッドフォンアウトです。
- 10 **MIDI IN / OUT:** MIDI信号を入出力します。
- 11 **USB:** コンピューターと接続してデジタルオーディオインターフェイスとして使用したり、MOOERオフィシャルソフトウェアによるプリセットの編集やインポート/エクスポート、ファームウェアアップデートを行うUSB Type-B端子です。
- 12 **I/O:** 電源ON/OFFスイッチです。
- 13 **DC IN:** GE250パワーサプライを接続します。
- 14 **ケーブルかけ:** 突然のケーブル抜けを防ぐため、電源ケーブルをかけておきます。

ホームディスプレイ



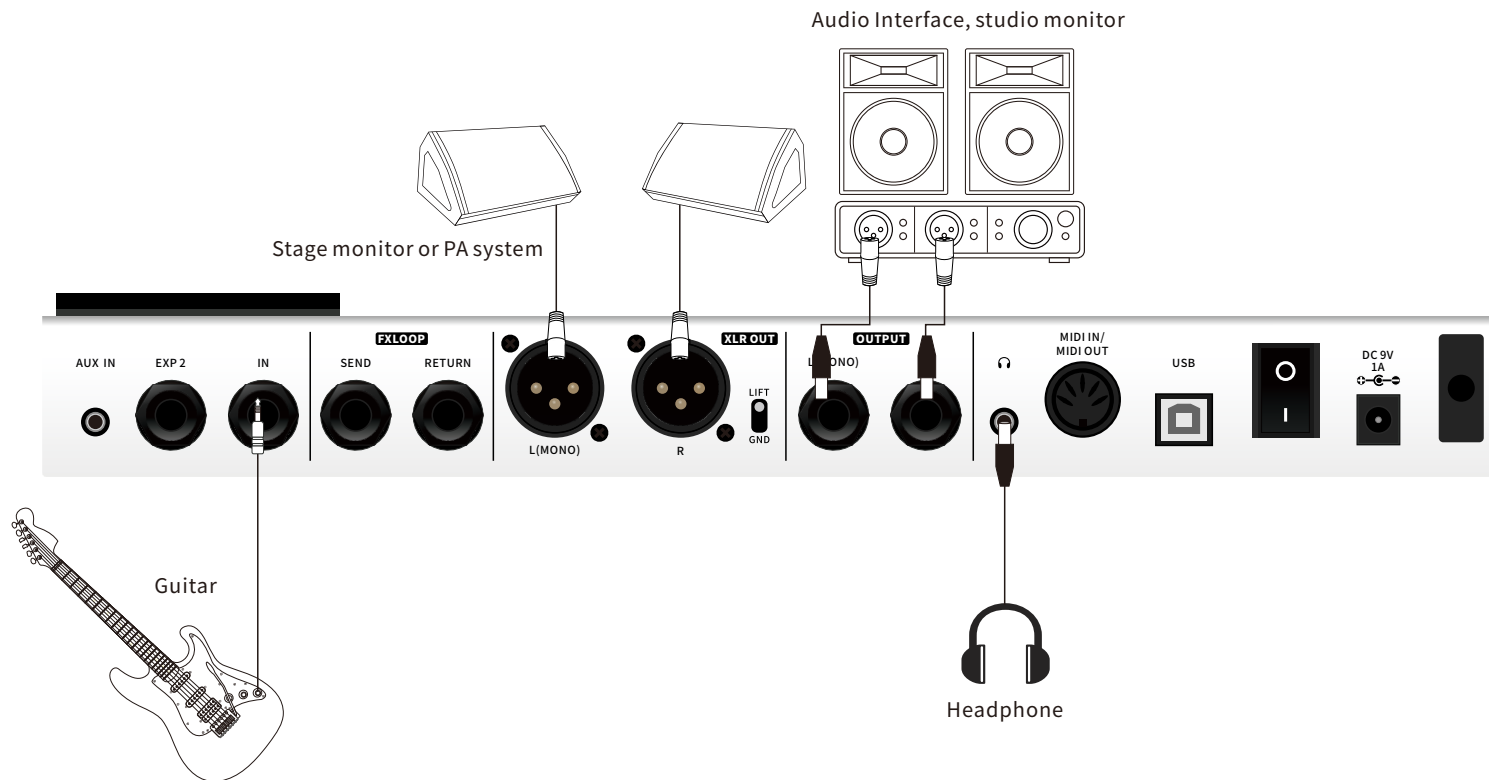
- 01 EXP 1 デisplay
- 02 EXP 2 デisplay
- 03 CAB SIM THRU デisplay
- 04 プリセットボリュームレベルデisplay
- 05 BPM
- 06 DSPリソースロード
- 07 EXP ボリュームデisplay
- 08 現在のプリセットナンバー
- 09 現在のプリセットネーム
- 10 現在のエフェクトチェーン

セットアップ

1. FRFRデバイスとの接続

スタジオモニター、オーディオインターフェース、ステージモニター、PAシステム、ヘッドフォンなどのFRFR(フルレンジ、ファストレスポンス)スピーカーキャビネットとの接続例です。

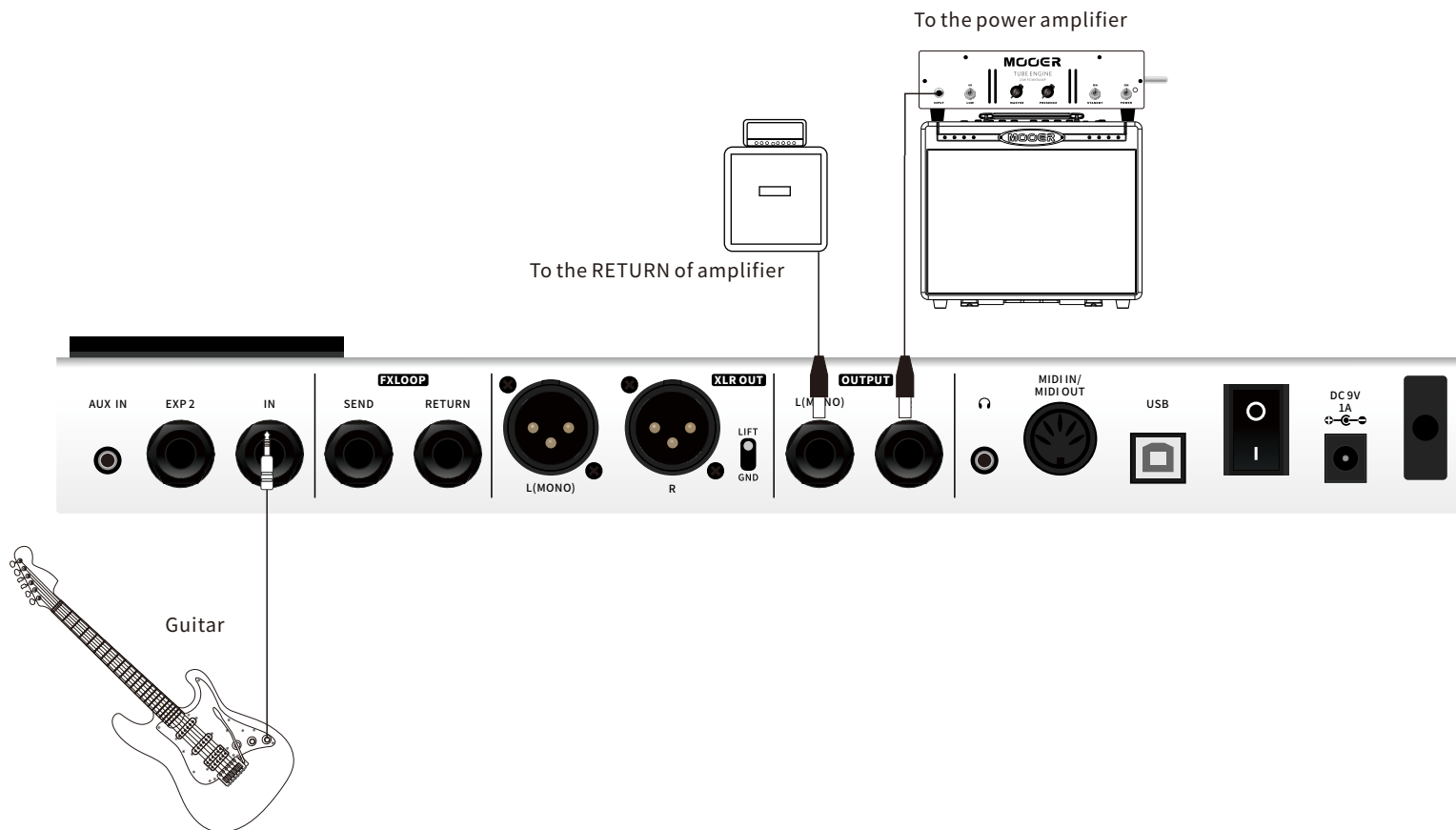
AMPとCAB SIMブロックをONにすることを推奨します。



※XLRアウトプットは長いケーブルを接続する際の音量低下や音質低下を軽減できます。

2. パワーアンプ+ギタースピーカーとの接続

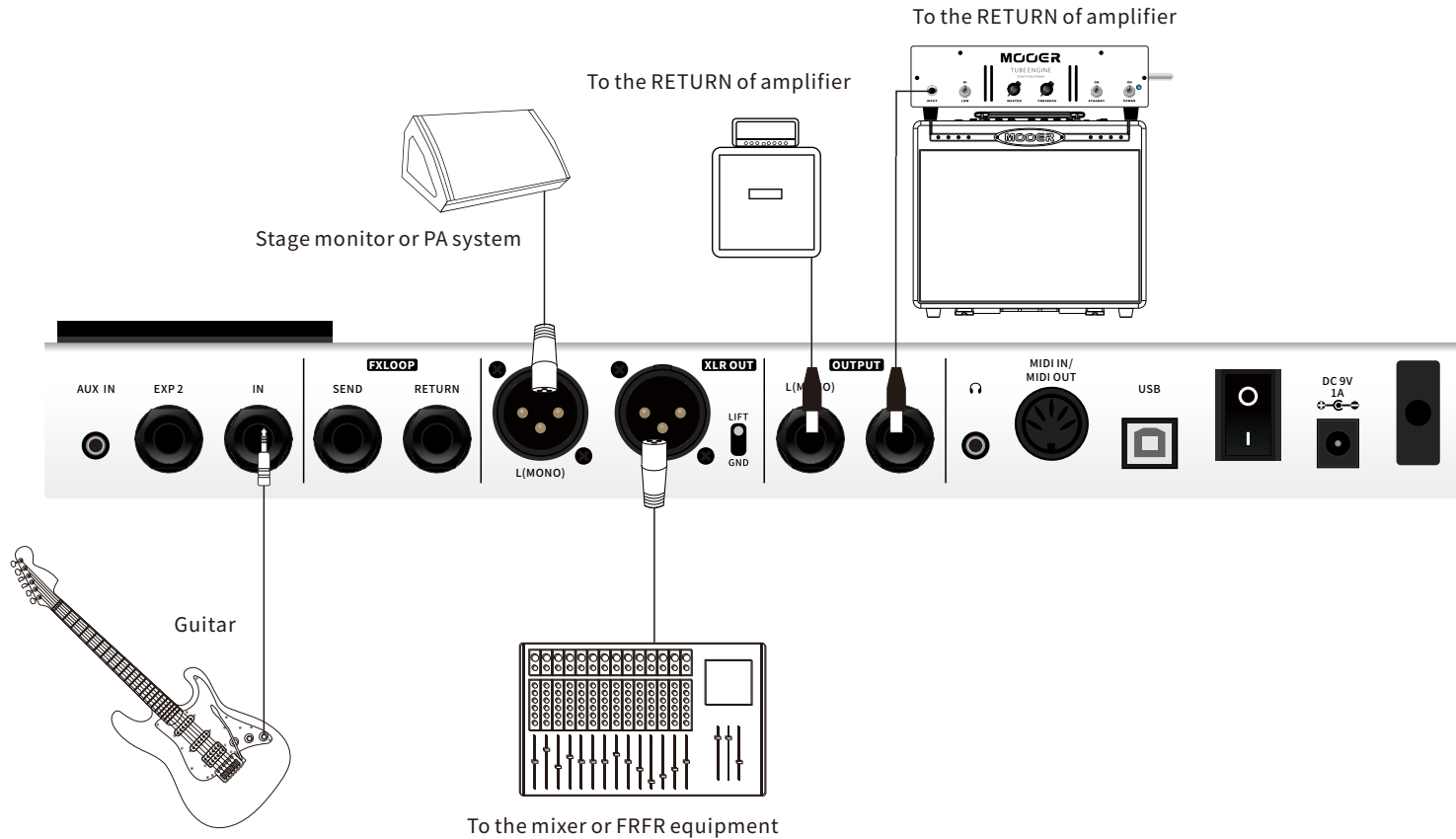
パワーアンプ、またはアンプのリターンとギタースピーカーキャビネットを使用する際、AMPブロックのみをONにします。



3. FRFRスピーカーとアンプへの同時接続

推奨セッティング:

- SYSTEMボタンを押してシステムセッティングに入ります。
- CAB SIM THRUセッティングを選びます
- DRDRスピーカーに接続するアウトプットのCAB SIMをONに、アンプに接続するアウトプットのCAB SIMをTHRUにします。

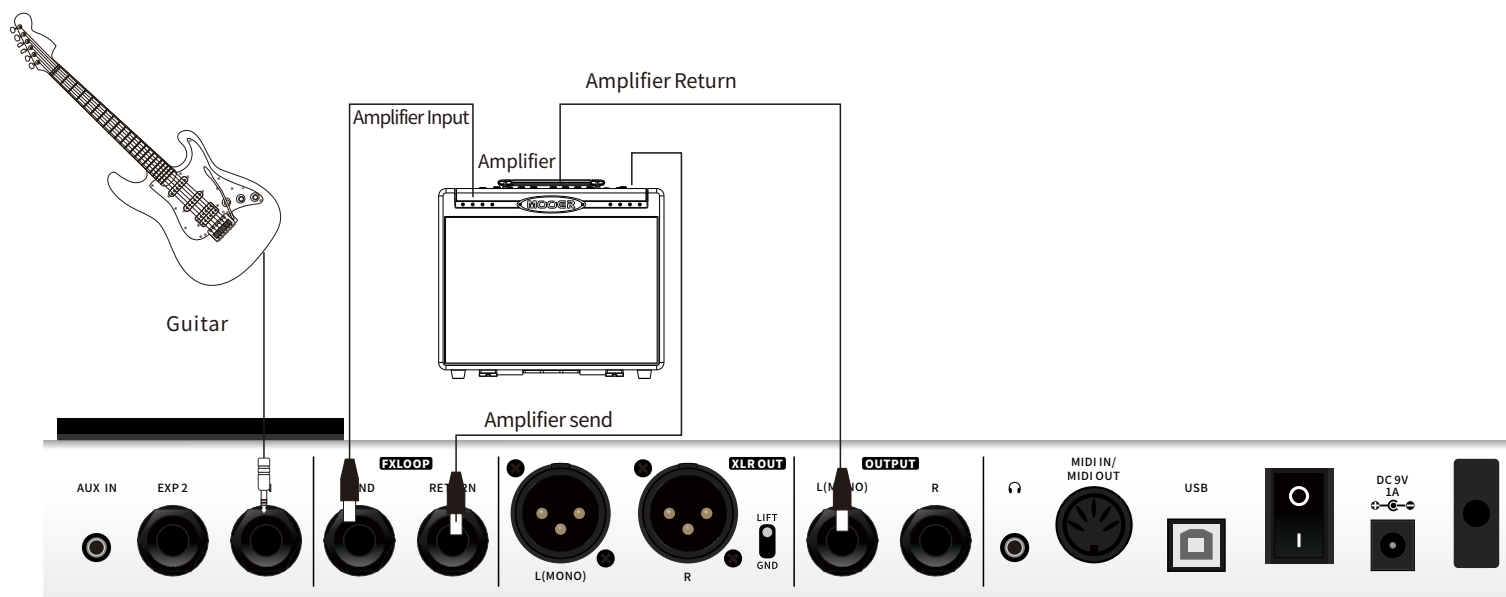


4. 4ケーブルメソッド接続

GE250のエフェクトループはアンプとの4ケーブルメソッドに対応しています。GE250はアンプの前段とエフェクトループの両方のエフェクトを1台で設定することができます。例えば、ワウやコンプレッサー、プリEQ、ピッチシフト、歪みはアンプの前に、モジュレーション、ディレイ、リバーブはエフェクトループに設置することができます。

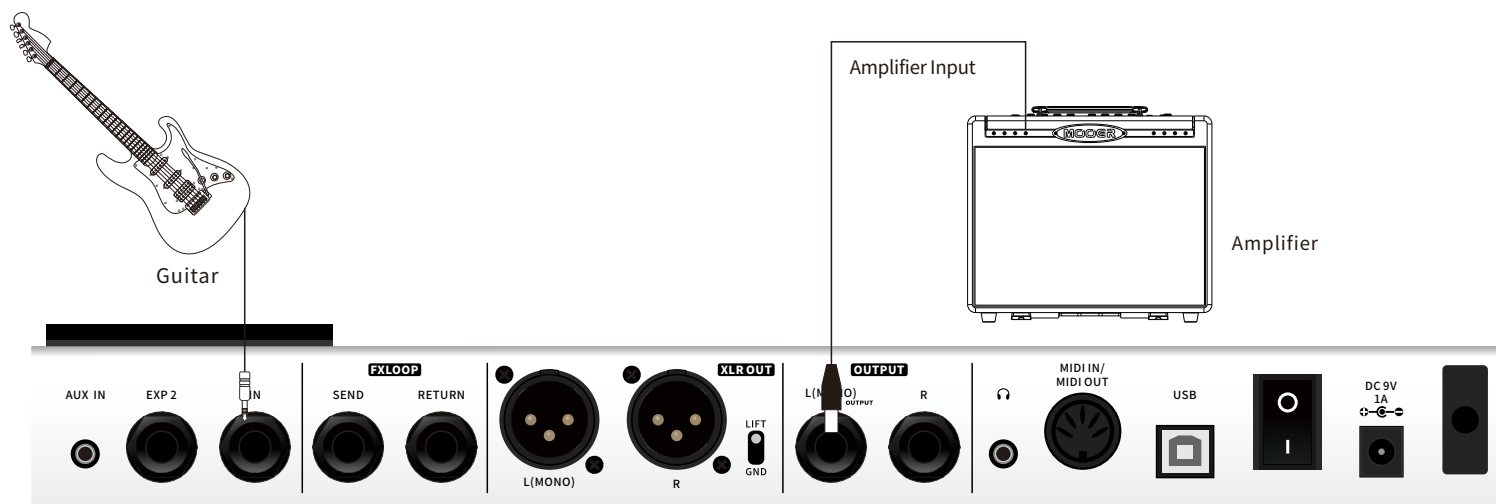
下記のように設定します：

- FX LOOPブロックをONに、AMP、CABブロックをOFFにします。
- FX LOOPをシリアルに設定します。
- DISPLAYボタンを押してエフェクトチェインディスプレイに入り、アンプ前段のエフェクトはSENDより前に、エフェクトループのエフェクトはSENDとRETURNの間に設置します。



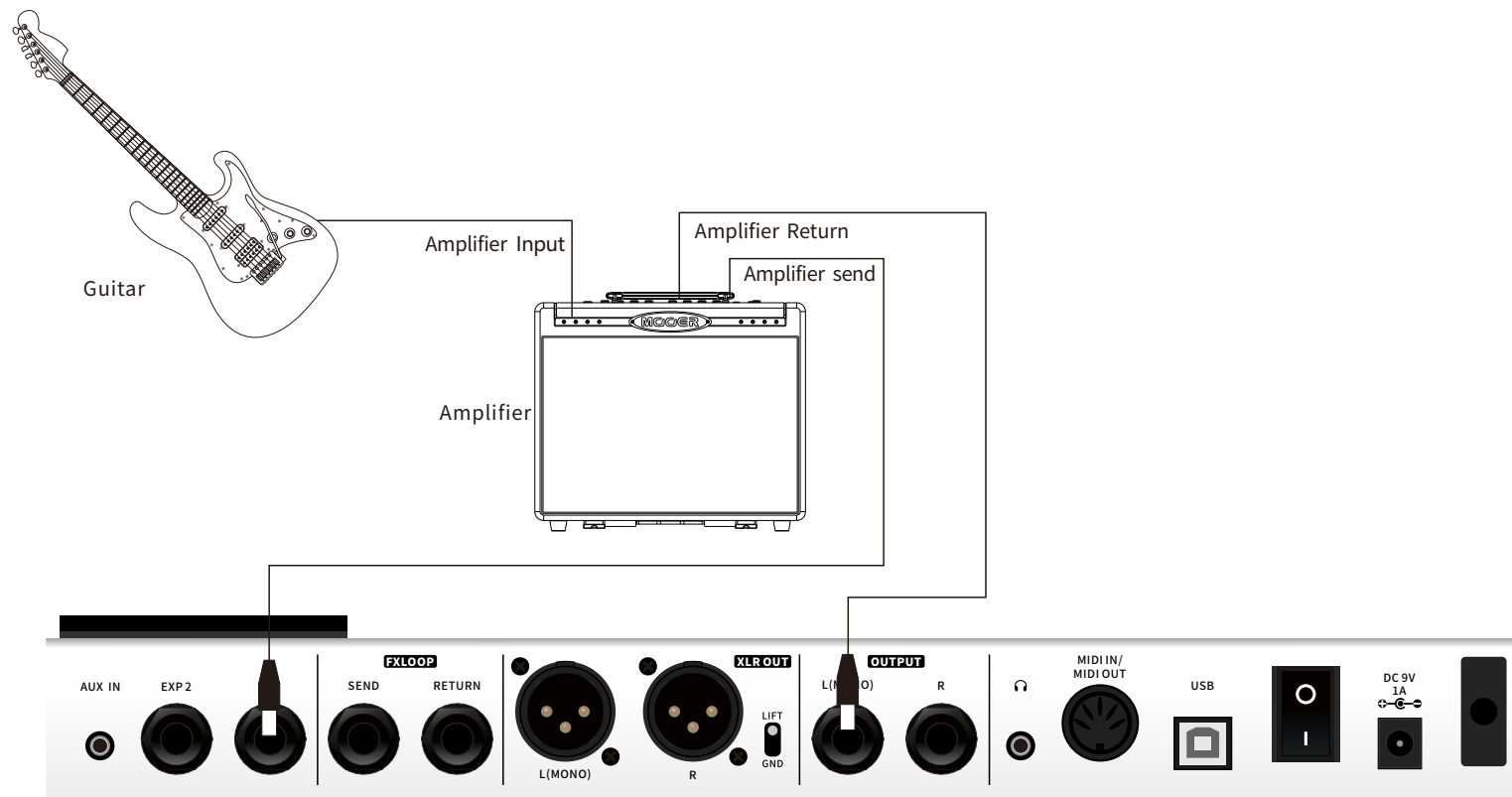
5. アンプのインプットに接続する

GE250をアンプ前段に接続するエフェクターとして使用します。この接続では、AMPとCABブロックをOFFにすることを推奨します。



6. アンプのエフェクトループに接続する

GE250をアンプのエフェクトループに接続し、アンプ後段のエフェクターとして使用します。この接続では、AMPとCABブロックをOFFにすることを推奨します。



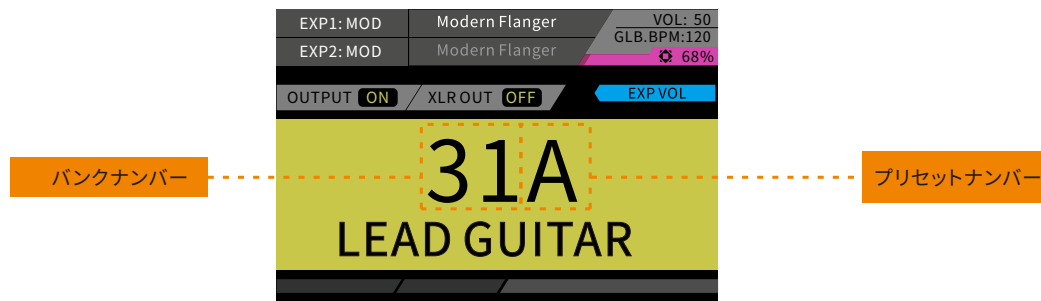
プレイ

1. お好みの方法で接続します。
2. MASTERノブを最小に設定します。
3. GE250に電源を接続します。
4. 電源が入ったら、MASTERノブを少しずつ上げて音量を調整します。

プリセットの編集

GE250には10のエフェクトブロックがあります。エフェクトの接続順やエフェクト・タイプ、パラメータの値、エフェクトブロックのON/OFF、エクスプレッションペダルやCTRLフットスイッチの設定はプリセットに保存することができます。

GE250には85のバンクがあり、各バンクには3つのプリセットが保存できます。全体で255種類のプリセットを保存できます。



バンクは▼▲、フットスイッチを使って変更できます。次にA/B/Cフットスイッチからプリセットを選択します。プリセットページではVALUEノブを使ってプリセットを変更することもできます。

1. エフェクトブロックのON/OFF

ON:OFFになっているエフェクトブロックのボタンを押すと、エフェクトブロックがONになります。

OFF:ONになっているエフェクトブロックのボタンを押すとエフェクトブロックのエディットメニューに入り、再度エフェクトブロックのボタンを押すとエフェクトブロックがOFFになります。

各エフェクトブロックのON/OFFはボタンのLEDで表示されます。

2. 詳細な音色設定

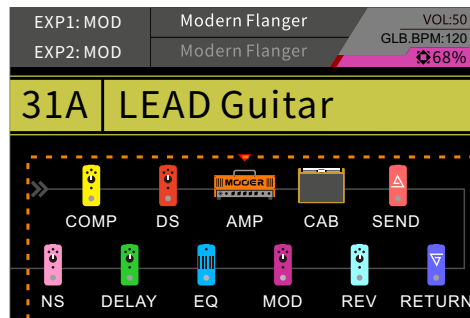
- エフェクトブロックのボタンを押し、エディットメニューに入ります。
- VALUEノブを使って各種設定を変更します。

3. エフェクトブロックの接続順

GE250はエフェクトチェーンの接続順を設定できます。

DISPLAYボタンを押し、エフェクトチェーンページに入ります。エフェクトブロックがONなら、そのエフェクトブロックはディスプレイ上でカラー表示されます。エフェクトブロックがOFFなら、そのエフェクトブロックはグレーで表示されます。

- DISPLAYボタンを押し、エフェクトチェーンページに入ります。
- VALUEノブを回し、接続順を変更したいエフェクトブロックでノブを押して選択します。
- VALUEノブを回し、選択したエフェクトブロックの接続場所に移動し、ノブを押して決定します。

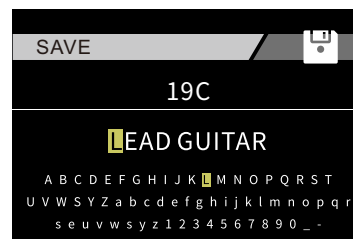


ご注意

- 1.全てのエフェクトブロックは、接続順を切り替えるとONになります。ユーザーは続けてそのエフェクトブロックの設定を編集して保存できます。
- 2.SYSTEM-CAB SIM THRUの設定が変更されている時、CABブロックはエフェクトチェーンの最後尾に固定されます。

4. 保存

- SAVEボタンを押してセーブメニューに入ります。
- ▼、▲フットスイッチ、またはVALUEノブを回して保存するプリセットスロットを選択します。
- VALUEノブを押すとプリセットネームの編集に移ります。VALUEノブを回して文字を選択し、押して決定を繰り返し、プリセットネームを編集します。
- 再度SAVEボタンを押すとプリセットが保存されます。

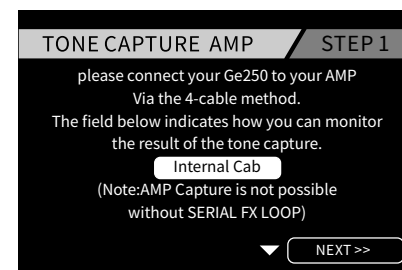
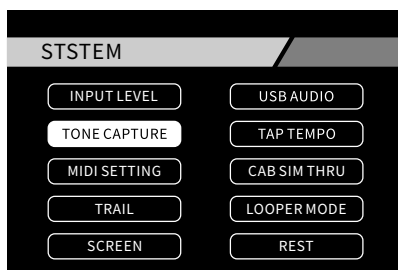
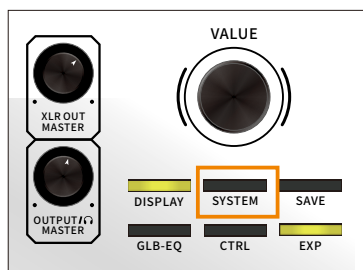


TONE CAPTURE

TONE CAPTUREは、リアルな楽器のサウンドをサンプリングし、比較と学習を行う機能で、自分だけのデジタルモデリングを作ることができます。GE250のTONE CAPTUREは様々なアンプサウンドをキャプチャして新しいアンプモデルとして登録することができます。


TONE CAPTUREを使う前に、ターゲットアンプ (キャプチャしたいアンプ) がエフェクトループを搭載していることを確認します。

- 1.アンプとGE250を4ケーブルメソッド (セットアップ参照) で接続します。
- 2.SYSTEMを押し、システムセッティングに入ります。
- 3.TONE CAPTUREを選びます。
- 4.モニターモードを選びます。INTERNAL CAB (CABセクションがON) は、FRFRスピーカーがモニターとして機能します。EXTERNAL CAB (CABセクションがOFF) はギターアンプ用のキャビネットをモニターとして使用します。▼フットスイッチを押して続けます。



5. モニターのトーンを設定したら、再度▼フットスイッチを押します。
6. VALUEノブでアンプモデルを選択し、GAINとMSTを調整します。アンプのサウンド、GAIN、MSTはターゲットアンプにできるだけ近づけるように調整します。▼フットスイッチを押して続けます。
7. ONE CAPTUREサンプリングページに入ります。フットスイッチAでターゲットアンプのモニター、フットスイッチBでGE250ソースアンプモデルのサウンドを切り替えられます。聴き比べを行いながらできるだけGAINとMSTを近くなるよう、もう一度設定します。
8. フットスイッチCを押してキャプチャを開始します。キャプチャのバーが進み、最大になるまでギターをプレイします。終了するとキャプチャはグリーンで表示されます。

※よりよい結果を得るため、強くオープンコードをまず弾いてから楽器全体のフレットを演奏します。

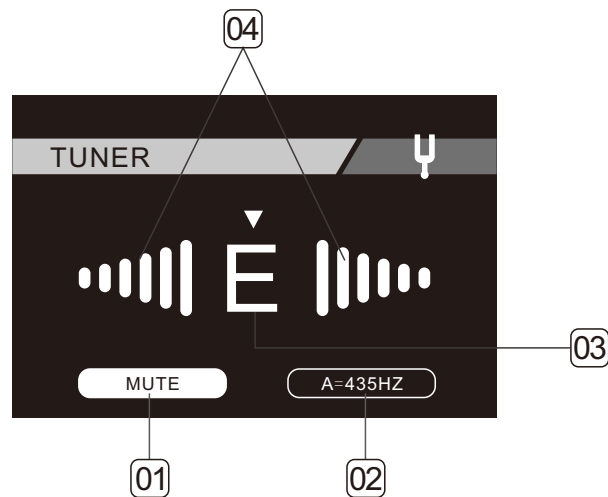
9. フットスイッチA、B、Cでターゲットアンプ、ソースアンプモデル、そしてキャプチャしたトーンを切り替えて聴き比べることができます。結果に満足できなければ、フットスイッチCを押してサンプルを破棄し、STEP4からやり直すことができます。
10. 満足のいく結果となり、保存するにはVALUEノブで  を選択します。保存するスロットを選んだらSAVEを押して保存します。TONE CAPTUREボタンを押すとサンプルが有効になります。



※TONE CAPTUREブロックにはSYNCオプションがあります。これがONになっている時、サンプリング時のアンプモデルはソースセッティングとして呼び出されます。OFFの時、アンプモデルは現在のパッチをベースとします。

チューナー

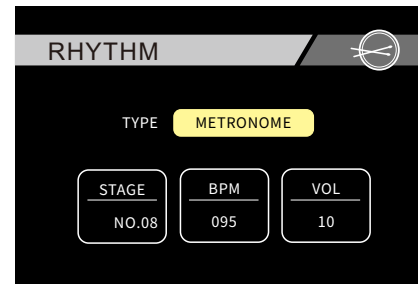
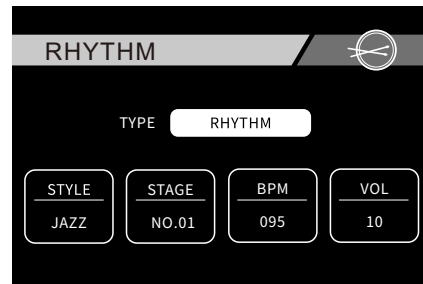
フットスイッチAとBを同時に押すとチューナーが起動します。



- 1.オーディオ信号をミュートするか、バイパス(音を出してチューニング)するかを切り替えます。
- 2.チューナーの基準ピッチを設定します。
- 3.現在の音程に最も近い音を表示します。
- 4.音程があっていないときは赤、音程があっている時は緑で表示されます。

RHYTHM

GE250のRHYTHMモジュールには60種類のドラムマシンと10種類のメトロノームセッティングを収録し、練習などに最適です。RHYTHMボタンを押すところこのモジュールをON/OFFでき、またエディットスクリーンに入ります。



TYPE: RHYTHM (ドラムマシン)とMETRONOMEを切り替えます。

STYLE: パターンスタイルを選択します。

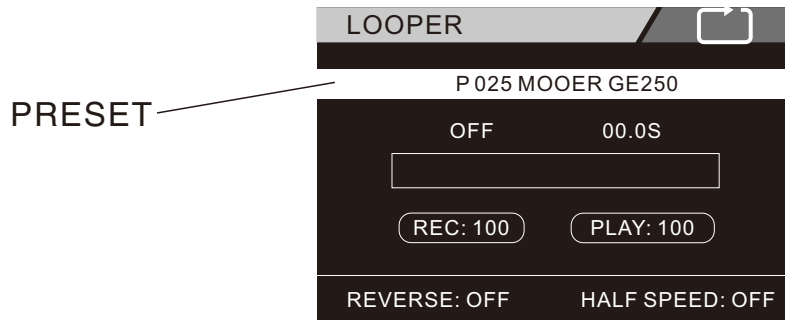
BPM: RHYTHMのテンポを設定します。

VOL: RHYTHMの音量を調整します。

CTRL/TAP フットスイッチでドラムマシンのBPMのタップテンポ設定ができます。

ルーパー

GE250には150秒までのルーパーが搭載され、そこにスペシャルエフェクトをかけることもできます。フットスイッチBとCを同時に押すとルーパースクリーンにアクセスできます。



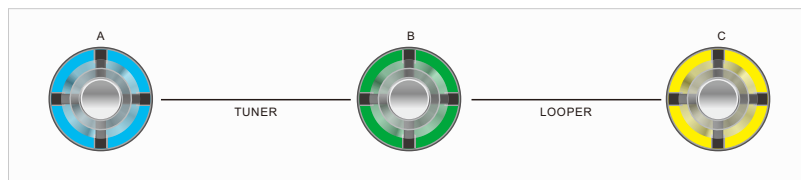
VALUEノブで下記のパラメータを設定できます。

PLAY: ルーパーの音量を調整します。

REC: ルーパーのレコーディングレベルを調整します。

PRESET: 現在の選択中のプリセットを切り替えます。

※ルーパーに録音されたメモリーは電源を切ると消去されます。



フットスイッチA、B、Cでルーパーをコントロールします。

A: REVERSEエフェクトのON/OFFを切り替えます。

B: HALF SPEEDのON/OFFを切り替えます。

- C:
- 1度押すと録音、プレイバック、オーバーダブを開始します。
 - 2回素早く押す(ダブルプレス)とルーパーを停止します。
 - 長押しすると現在のメモリーにあるループを消去します。

ドラムマシンとルーパー (Jamモード)

GE250にはドラムマシンとルーパーを同時に使用できるJamモードがあります。
Jamモードは下記のようにセットアップします。

- 1.RHYTHMボタンを押し、ドラムマシンを起動します。
- 2.LOOPERに入り、RECを開始します。自動的にドラムマシンがリセットされます。
- 3.ドラムマシンのバーが終了間近でPLAYを開始すると、ルーパーは次のバーが開始したときに自動的にスタートします。
- 4.STOPでJamモードを停止することができます。リスタートすると録音したトラックとドラムマシンが同時にスタートします。

ご注意

- 1.Jamモードでは1/2SPEEDとREVERSEエフェクトを使用できません。
- 2.Jamモードを起動するには、必ず先にRHYTHMを起動してからLOOPERに入ります。
- 3.Jamモード中、ドラムマシンのスピードやリズムタイプを変更することはできません。

Justify

JamモードにはJustify機能があります。

- 1.PLAYで録音を終了し、トラックがドラムマシンバーの半分以下の場合、ルーパーは残りのプレイバック分を自動的に消去します。
- 2.PLAYで録音を終了し、トラックがドラムマシンバーの半分を超えている場合、ルーパーは自動的にバーの最後まで録音を継続します。

GLB-EQ

GLB-EQはメインアウトプット、ヘッドフォンアウト、XLRアウトにかけることのできるグローバルEQです。

GLB-EQを押してGLB-EQスクリーンにアクセスします。

VALUEノブで設定したいアウトプットを選択します。

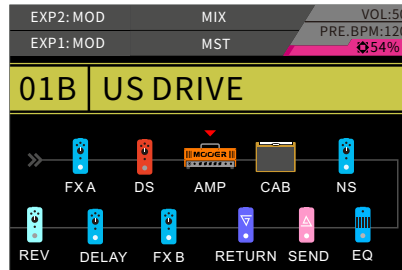
VALUEノブを押すとEQのON/OFFを切り替えます。

GLB-EQがON時、GLB-EQボタンが点灯します。



FX LOOP

GE250には追加のエフェクターやアンプとの4ケーブルメソッドのためのエフェクトループ (FX LOOP) を搭載しています。FX LOOPボタンを押してFX LOOPスクリーンに入ります。SENDとRETURNの位置はエフェクトチェーンに表示されています。この位置を自由に設定することができます。



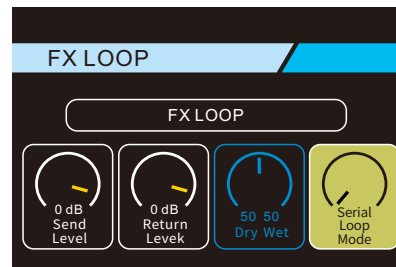
LOOP MODE:エフェクトループをシリアル (直列) またはパラレル (並列) で切り替えます。

DRY/WET:エフェクトループがパラレルに設定されているときのドライ/ウェットバランスを調整します。

RETURN LEVEL:エフェクトループから入力されるシグナルのレベルを調整します。デフォルトは0dBです。

SEND LEVEL:エフェクトループへと出力されるシグナルのレベルを調整します。

デフォルトは0dBです。



※RETURNをSENDより前に設置することはできません。

エクスペッションペダル

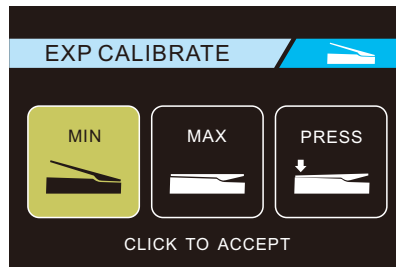
GE250にはビルトインエクスペッションペダル (EXP) を搭載し、さらにもう1つの外部エクスペッションペダル (EXP2) を接続することもできます。

外部エクスペッションペダルを使用するには、EXP2インプットにステレオTRSケーブルを使用するエクスペッションペダルを接続します。2つのエクスペッションペダルはどちらもEXPメニューから設定とキャリブレーションを行えます。

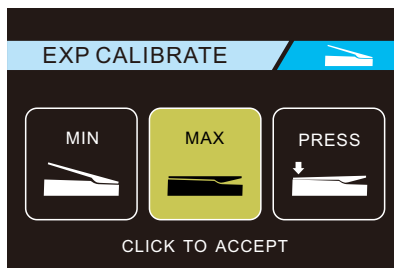
最初にGE250をご使用になる時、また設置場所を変更した時にはエクスペッションペダルのキャリブレーション設定を行います。

キャリブレーション

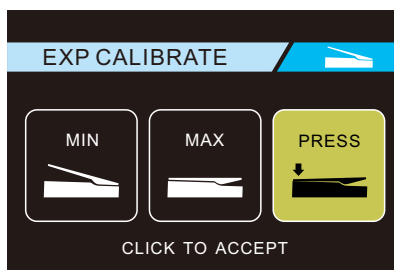
- EXPボタンを押してエクスペッションメニューに入り、エクスペッションペダルを選択し、[キャリブレーション]を選択してキャリブレーションメニューに入ります。エクスペッションペダルをヒールダウンポジションに動かし、VALUEノブを押します。



- エクスプレッションペダルをトーダウンポジションに動かし、VALUEノブを押します。



- ペダルをトーダウンポジションのまま、さらに奥まで踏み込むようにペダルを押し付けます。その状態のままVALUEノブを押します。これで、エクスプレッションペダルのセンシティビティや角度、操作範囲を設定できます。



ボリュームペダル

プリボリューム

- EXPまたはEXP2をEXPメニューから選択します。
- FUNCTIONを選び、コントロールする値をLEVEL、FX A/B Volume、OD/DS MST、AMPのどれかに設定します。
- エクスプレッションペダルを奥まで押してアクティブにします。

グローバルボリューム

- EXPメニューでEXP VOLを選択します。
- VALUEノブでEXP1をEXP VOL PEDALに設定します。
- エクスプレッションペダルを押してアクティブにします。(EXPのLEDが点灯している場合、EXP 1はユーザーが前に設定した他の機能を制御します。EXPのLEDがオフの場合、EXP 1はグローバルボリュームレベルを制御します。
- MIN/MAX(最小/最大値)を設定します。

ワウペダル

- EXP1/EXP2をEXPメニューから選択し、FUNCTIONを選びます。
- FXA-Positionを選択し、DISPLAYを押して終了します。
- FXAブロックを選び、CRY WAHまたは535WAHを選択します。
- エクスプレッションペダルを押してアクティブにします。

同様の設定で、エクスプレッションペダルは各エフェクトブロックの様々なパラメータに設定し、リアルタイムにコントロールすることができます。

マージ

MERGEは、エクスプレッションペダルでまとめて複数のパラメータを同時にコントロールすることのできる機能です。好きなエフェクトブロックの好きなパラメータの値と、そのコントロールする範囲を設定することができます。様々な使い方ができますが、2種類の音をシームレスに可変する際に特に有効です。

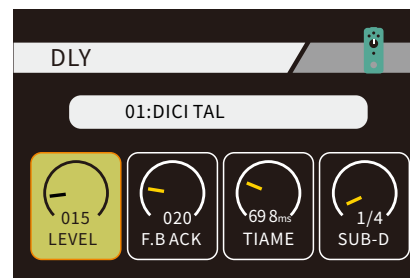
ここでは、DELAYタイム、フィードバック、レベルを同時にコントロールする例を考えてみましょう。

EXPペダルをアクティブにし、ヒールダウンポジションに動かします。

EXPセッティングからMERGEを選び、エクスプレッションペダルに割り当てるパラメータをまとめて選択します。



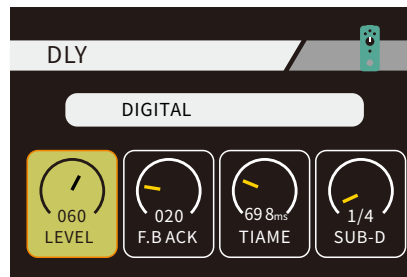
(Heel down)



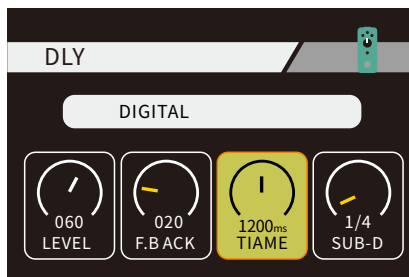
- DELAYボタンでDELAYエフェクトブロックを開きます。
- EXPペダルをヒールダウンポジションに動かします。
- LEVELパラメータを15に設定します。VALUEノブは押しません。



(Heel down)



- EXPペダルをトーダウンポジションに動かします。
- LEVELパラメータを60に設定します。LEVELパラメータの囲いの色が変わります。
- これで、エクスペッションペダルを使ってDELAYのLEVELを15から60まで動かせるようになりました。次のパラメータに移ります。



同様の設定をFEEDBACKパラメータに行います。例えばヒールダウンを50、トーダウンを10に設定します。ヒールダウンからトーダウンに動かすとFEEDBACKが下がる方向に動きます。同様にTIMEを300msから1200msに設定します。

全て設定したらエクスペッションペダルを動かして実際にパラメータがどのように動くかを確認します。さらにパラメータを割り当てることもでき、複数のエフェクトブロック間のパラメータを同時にコントロールすることも可能です。

ご注意

エクスペッションペダルが正常に動作しないときは、再度キャリブレーションを行います。

EXPとEXP2のMERGEは個別に違った設定が可能です。

CTRLセッティング

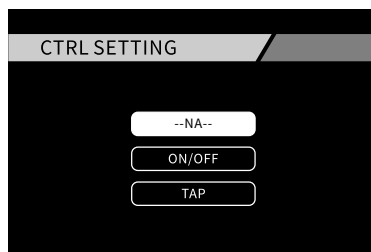
CTRLセッティングには3つの主な機能があります。

NA: CTRLフットスイッチを無効にします。

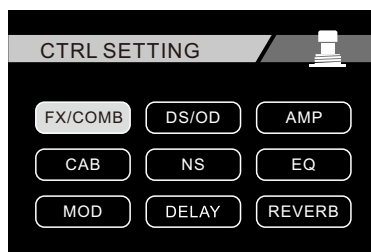
ON/OFF: 特定のエフェクトブロックのON/OFFを切り替えます。

TAP: フットスイッチを複数回押す(タップ)ことでディレイのタップテンポを設定します。

ON/OFFと**TAP**は選択中のプリセットのフットスイッチを1秒間長押しすることでも切り替えられます。



- TAPを選択すると、CTRL/TAPはデフォルトでプリセットのTAP TEMPOとなります。
- ON/OFFを選択すると、選択中のプリセットでアサインされたエフェクトブロックをまとめてON/OFFできます。

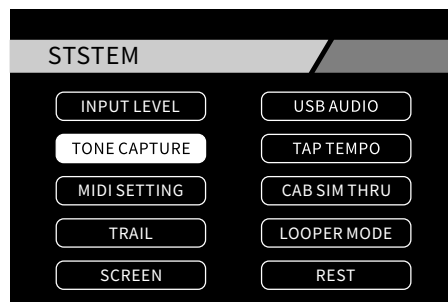


VALUEノブでCTRLスイッチにアサインしたいエフェクトブロックをハイライトさせて選択します。

CTRLフットスイッチを踏むと、青から紫にLEDが代わり、エフェクトブロックのON/OFFを切り替えることができます。

システムセッティング

SYSTEMボタンを押すとシステムセッティングに入ります。このメニューでは様々なグローバルセッティングやGE250のセットアップを行います。



INPUT LEVEL: インプットゲインレベルを調整します。

USB AUDIO: USBオーディオアウトの設定を行います。

TONE CAPTURE: TONE CAPTUREセクションを参照してください。

TAP TEMPO: タップテンポセッティングのグローバル/プリセットを設定します。

MIDI SETTING: MIDIマッピングを行います。

CAB SIM THRU: アウトプットのCABシミュレーションを設定します。

TRAIL: TRAIL機能のON/OFFを切り替えます。

LOOPER MODE: ルーパーのPre/Postを切り替えます。

FS MODE: フットスイッチモードを切り替えます。

SCREEN: ディスプレイスクリーンの輝度を調整します。

RESET: GE250をファクトリーセッティングに戻します。本体に保存されたプリセットは失われますのでご注意ください。ファームウェアバージョンの確認のみを行うこともできます。

INPUT LEVEL

接続する楽器に合わせてインプットレベルを $-\infty \sim +6\text{dB}$ の範囲で調整します。

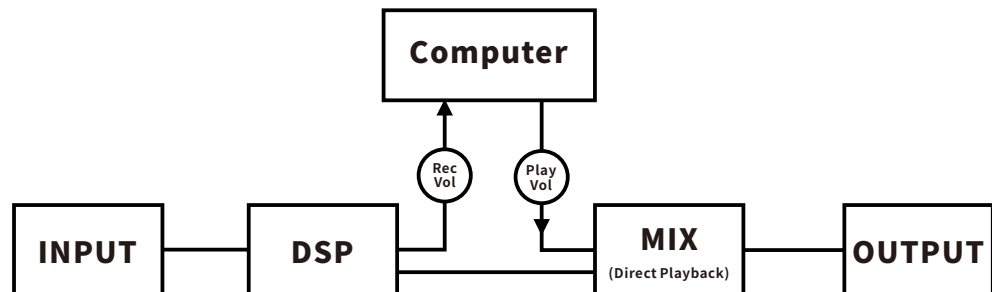
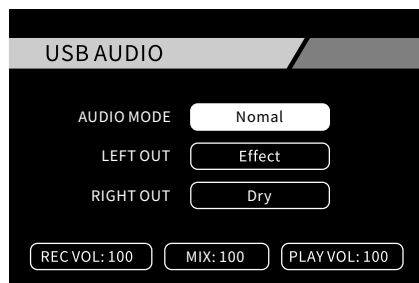
USB AUDIO

GE250は24bit 44.1kHzのUSBダイレクトレコーディングが可能です。

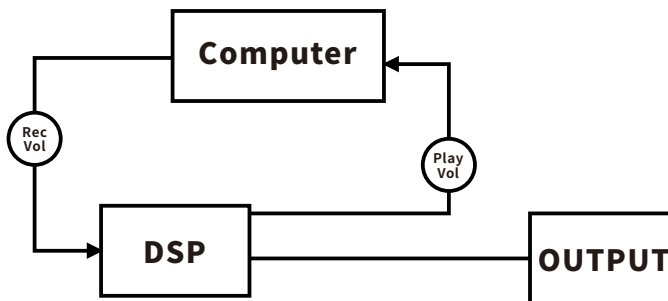
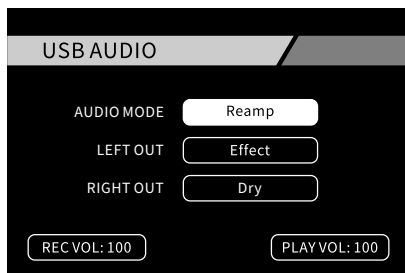
WindowsではASIOドライバのダウンロード/インストールが必要となる場合があります。Mooer公式サイト <http://www.moeraudio.com/> からダウンロードします。Macでは必要ありません。

1. オーディオモード

NORMAL: ノーマルレコーディングモードです。GE250はオーディオインターフェースとなります。



REAMP: リアンプモードです。コンピュータからのシグナルにエフェクトを通して出力します。



2. LEFT OUT/RIGHT OUT

DRY: シグナルにエフェクトをかけず、シグナルプロセッサをバイパスして出力します。

EFFECT: シグナルにエフェクトをかけて出力します。

REC VOL: コンピュータに送られるデジタル・オーディオレベルを調整します。

PLAY VOL: モニタ(プレイバック)ボリュームを調整します。

MIX: メインアウトプットとUSBアウトプットのミックスバランスを調整します。MIX=0でメインアウトプットのみ、MIX=100でUSBアウトプットのみとなります。

TAP TEMPO

タップテンポ機能をグローバルまたはプリセットに切り替えます。

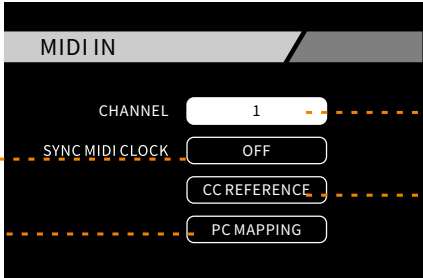
GLOBAL: すべてのプリセットのテンポをタップテンポで同時に設定します。

PRESET: プリセットごとに個別に設定されたテンポを操作します。

MIDI SETTING

GE250はMIDI IN、MIDI OUTから他の機器と連携して動作させることができます。動作に対するMIDIのシグナルはMIDI SETTINGメニューから行います。

1. MIDI IN



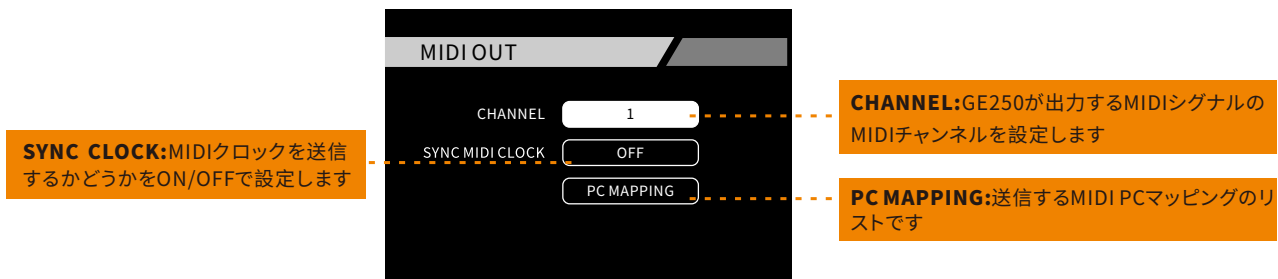
The screenshot shows the 'MIDI IN' menu with the following settings:

- CHANNEL: 1
- SYNC MIDI CLOCK: OFF
- CC REFERENCE
- PC MAPPING

Callouts explain the settings:

- SYNC MIDI CLOCK:** MIDIクロックを受信するかどうかをON/OFFで設定します
- PC MAPPING:** 受信するMIDI PCマッピングのリストです
- CHANNEL:** GE250が受信するMIDIチャンネルを1~16、またはOMNIから選択します
- CC REFERENCE:** 受信するMIDI CCのリストです

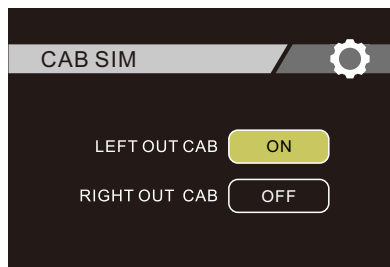
2、MIDI OUT



CAB SIM THRU

GE250のスピーカーキャビネットシミュレーションは本体のアウトプットごとに有効/無効を設定することができます。

例えば、LEFTアウトプットからステージのアンプに出力し、RIGHTアウトプットからPAに出力する場合、RIGHTにのみキャビネットシミュレーションをかけることができます。



ON: キャビネットシミュレーションを有効にします。

THRU: キャビネットシミュレーションを無効にします。

TRAI

TRAILをONにすると、下記の方法でディレイ/リバーブをOFFにした後にも残響を数秒間残すことができます。

1. CTRLスイッチでディレイ/リバーブエフェクトをOFFにした時
2. プリセットを変更した時

注意:切り替えたいパッチに同じディレイ/リバーブ効果があることを確認してください。そうでなければパッチを変更している間は、トレイルをアクティブにできません。

LOOPER MODE

LOOPER POSITION

シグナルチェーン内でルーパーの位置を設定します。



PRE: LOOPERはエフェクトチェーンの先頭に設置され、ルーパーにはドライシグナルが録音されます。PREモードではルーパーで再生された音にもエフェクトチェーンが適用され、リアルタイムでエフェクトを変更するとルーパーのサウンドを変えることができます。

POST: LOOPERはエフェクトチェーンの最後に設置され、エフェクトを通った音がルーパーに録音されます。POSTモードでは一般的なルーパーと同様に機能し、録音された音はそのまま再生されます。

SCREEN

ディスプレイスクリーンの輝度(明るさ)を調整します。

RESET

ここから現在のファームウェアバージョンを確認することができます。

YESを選択すると、GE250を工場出荷状態のセッティングに戻します。(ファームウェアバージョンは変わりません。)プリセットの編集等は削除されますので慎重に行ってください。

エフェクトリスト

FXA & FXB		
MODEL NAME		Description
1	CRY WAH	DUNLOP® GCB95をベースとしたワウペダル
2	535 WAH	DUNLOP® Crybaby 535Qをベースとしたワウペダル
3	AUTO WAH	MOOER® @WAH をベースとしたワウペダル
4	TALK WAH AH	MOOER® RedKid Talk wahをベースとしたワウペダル
5	TALK WAH OH	MOOER® RedKid Talk wahをベースとしたワウペダル
6	TOUCH WAH	MOOER® Envelopeをベースとしたオートワウ
7	YELLOW COMP	MOOER® YELLOW COMPをベースとしたコンプレッサー
8	BLUE COMP	MOOER® BLUE COMPをベースとしたコンプレッサー
9	PHASERS	サインウェーブのフェイザー
10	TEP PHASER	スクエアウェーブのフェイザー
11	FAT PHASER	低域を強調したフェイザー
12	FLANGER	スタンダードなフランジャー
13	JET-FLANGER	ジェットサウンドを作るフランジャー
14	TREMOLO	スタンダードなトレモロ
15	STUTTER	スクエアウェーブのフランジャー
16	VIBRATO	ヴィブラート
17	DETUNE	ピッチシフトフランジャー
18	ROTARY	ロータリーエフェクト
19	ANA-CHORUS	アナログライクなコーラス
20	RING MOD	リングモジュレーター

FXA & FXB

MODEL NAME		Description
21	Q-FILTER	フィルターモジュレーション
22	HIGH PASS	ハイパスモジュレーション
23	LOW PASS	ローパスモジュレーション
24	SLOW GEAR	スロウアタックエフェクト
25	LOFI	ロービットエフェクト
26	DIGITAL DELAY	デジタルディレイ
27	INTEL REDUCER	歪み前に設置するノイズゲート
28	NOISE GATE	歪み後に設置するノイズゲート
29	POLY PITCH	ポリフォニックピッチシフター
30	TRI-CHORUS	3ボイスコーラス
31	MONO PITCH	モノフォニックピッチシフター
32	ANALOG DELAY	アナログディレイ
33	NOISE KILLER	スタンダードノイズリダクション

パラメータ	説明
Q	QはQuality Factorの頭文字で、上下-3dB周波数の周波数帯とレゾナント周波数の比です。バンドパスフィルターのかかりの強さのように考えることができます。Qを低くするとワイドでゆるやかなかかりのサウンドとなり、高くすると狭く鋭いシェイプのサウンドとなります
Position	ワウのペダルスイープ位置を調整します。0でヒールダウン、100でトードウンとなります
	*Notes: エクスプレッションペダルを使ってワウエフェクトを使用する場合、EXPメニューからWAH > Positionで設定します。トードウンポジションでさらに押し込む“Toeswitch”でワウモジュールのON/OFF切り替えができます
PEAK	中心周波数の音量を調整します
Level	全体の音量を調整します
Rate	LFOスイープのスピードを調整します
Range	スイープの範囲を調整します
Attack	エンヴェロープの応答スピードです。100が最速です
Sens	エンヴェロープのセンシティブさを調整します
Threshold	コンプレッションエフェクトが効き始める音量を設定します
Ratio	コンプレッションがかかった信号がどの程度圧縮されるかを設定します
Depth	モジュレーションのかかりの深さを調整します
Mix	ドライ信号とウェット信号のバランスを調整します。0でドライのみ、100でディレイサウンドのみとなります
Feedback	ディレイの反復回数を調整します。高く設定するとディレイがより多く繰り返されます
Tone	モジュレーションの音色を調整します
Pitch	ピッチシフトの値を設定します
	(Detune : 100 cents = 1 semitone = 1 half-step)
Rise	スローギアエフェクトのアタックを調整します。
Sample	ローファイエフェクトのサンプルレートを調整します
(Lofi)	
Bit	ローファイエフェクトのビットレートを調整します
(Lofi)	

DS/OD

MODEL NAME		Description
1	TUBE DR	B.K. Butler® Tubedriveをベースとした歪みエフェクト
2	808	IBANEZ® TS808 をベースとした歪みエフェクト
3	PURE BOOST	MOOER® PURE BOOSTをベースとしたブースター
4	FLEX BOOST	MOOER® FLEX BOOSTをベースとしたブースター
5	DDRIVE	BARBER® Direct Drive をベースとした歪みエフェクト
6	BLACKRAT	ProCo® Rat をベースとした歪みエフェクト
7	GREY FAZE	Dunlop® Fuzz Face をベースとした歪みエフェクト
8	MUFFY	EHX® Big Muff をベースとした歪みエフェクト
9	MTL ZONE	BOSS® METAL ZONEをベースとした歪みエフェクト
10	MTL MASTER	Digitech® METAL MASTERをベースとした歪みエフェクト
11	OBSSESSVIE DIST	Fulltone® OCD をベースとした歪みエフェクト
12	JIMMY OD	Paul Cochrane® Timmy ODをベースとした歪みエフェクト
13	FULL DRV	Fulltone® Fulldrive 2 をベースとした歪みエフェクト
14	SHRED	Marshall® Shred master をベースとした歪みエフェクト
15	BEEBEE PRE	Xotic® BB Preamp をベースとした歪みエフェクト
16	BEEBEE+	Xotic® BB Plus をベースとした歪みエフェクト
17	RIET	Suhr® Riot をベースとした歪みエフェクト
18	TIGHT DS	Amptweaker® をベースとした歪みエフェクト
19	FULL DS	Fulltone® GT-500をベースとした歪みエフェクト
20	GOLD CLON	Klon® Centaur goldをベースとした歪みエフェクト
21	VX TUBE OD	VOX® Tube Odをベースとした歪みエフェクト
22	TIGHT METAL	Amptweaker® TightMetalをベースとした歪みエフェクト
23	THE JUICER	MOOER® The Juicerをベースとした歪みエフェクト
24	RUMBLE DRIVE	MOOER® Rumble Driveをベースとした歪みエフェクト

DS/OD

MODEL NAME		Description
25	SOLO	MOOER® Soloをベースとした歪みエフェクト
26	BLUES MOOD	MOOER® Blues Moodをベースとした歪みエフェクト
27	BLUES CRAB	MOOER® Blues Crabをベースとした歪みエフェクト
28	HUSTLE DRIVE	MOOER® Hustle Driveをベースとした歪みエフェクト

パラメータ	説明
Volume	音量を調整します
Tone	音色を調整します
Gain	歪みの強さを調整します

AMP MODELS

MODEL NAME	MODEL NAME	Description
1	65 US DX	Fender® 65 Deluxe reverbプリアンプセクション
2	65 US TW	Fender® 65 Twin Reverbプリアンプセクション
3	59 US BASS	Fender® 59 Bassmanプリアンプセクション
4	US SONIC	Fender® Super Sonicプリアンプセクション
5	US BLUES CL	Fender® Blues Deluxeプリアンプセクション
6	US BLUES OD	CleanチャンネルFender® Blues Deluxeプリアンプセクション Driveチャンネル
7	J800	Marshall® JCM800プリアンプセクション
8	J900	Marshall® JCM900プリアンプセクション
9	PLX100	Marshall® Plexi 100プリアンプセクション
10	E650 CL	ENGL® E650 Cleanチャンネル
11	E650 DS	ENGL® E650 Distortionチャンネル
12	POWERBELL CL	ENGL® E645 Cleanチャンネル
13	POWERBELL DS	ENGL® E645 Distortionチャンネル
14	BLACKNIGHT CL	ENGL® E650 Blackmore Cleanチャンネル
15	BLACKNIGHT DS	ENGL® E650 Blackmore Distortionチャンネル
16	MARKIII CL	MESA/Boogie® MARK III Cleanチャンネル
17	MARKIII DS	MESA/Boogie® MARK III Distortionチャンネル
18	MARKV CL	MESA/Boogie® MARK V Cleanチャンネル
19	MARKV DS	MESA/Boogie® MARK V Distortionチャンネル
20	TRI REC CL	MESA/Boogie® Triple Rectifier Cleanチャンネル
21	TRI REC DS	MESA/Boogie® Triple Rectifier Distortionチャンネル
22	ROCK VERB CL	Orange® Rockerverb Cleanチャンネル
23	ROCK VERB DS	Orange® Rockerverb Distortionチャンネル
24	CITRUS 30	Orange® AD 30プリアンプセクション
25	CITRUS 50	Orange® OR 50プリアンプセクション

AMP MODELS

MODEL NAME		Description
26	SLOW 100 CR	Soldano® SLO-100 Crunchチャンネル
27	SLOW 100 DS	Soldano® SLO-100 Distortionチャンネル
28	DR.ZEE 18 JR	DR.Z® Maz18 Jr プリアンプセクション
29	DR.ZEE 18 RECK	DR.Z® Z-Wreckプリアンプセクション
30	JET 100H CL	Jet City® JCA100H Cleanチャンネル
31	JET 100H OD	Jet City® JCA100H Driveチャンネル
32	JAZZ 120	Roland® JC-120プリアンプセクション
33	UK30 CL	Vox® AC30 Cleanチャンネル
34	UK30 OD	Vox® AC30 Driveチャンネル
35	HWT 103	Hiwatt® DR-103プリアンプセクション
36	PV 5050 CL	Peavey® 5150 Cleanチャンネル
37	PV 5050 DS	Peavey® 5150 Distortionチャンネル
38	REGAL TONE CL	Tone King® Falcon Rhythmチャンネル
39	REGAL TONE OD1	Tone King® Falcon Tweedチャンネル
40	REGAL TONE OD2	Tone King® Falcon Leadチャンネル
41	CAROL CL	Two Rock® Coral Cleanチャンネル
42	CAROL OD	Two Rock® Coral Driveチャンネル
43	CARDEFF	Two Rock® Cardiffプリアンプセクション
44	EV 5050 CL	EVH® 5150 Cleanチャンネル
45	EV 5050 DS	EVH® 5150 Distortionチャンネル
46	HT CLUB CL	Blackstar® HT Stage 100 Cleanチャンネル
47	HT CLUB DS	Blackstar® HT Stage 100 Distortionチャンネル
48	HUGEN CL	Diezel® Hagen Cleanチャンネル
49	HUGEN OD	Diezel® Hagen Driveチャンネル
50	HUGEN DS	Diezel® Hagen Distortionチャンネル

AMP MODELS

MODEL NAME		Description
50	HUGEN DS	Diezel® Hagen Distortionチャンネル
51	KOCHE OD	Koch® Powertone Driveチャンネル
52	KOCHE DS	Koch® Powertone Distortionチャンネル
53	US GOLD 100 CL	Friedman® Be100 Cleanチャンネル
54	US GOLD 100 DS	Friedman® Be100 Distortionチャンネル
55	CALI JP A	Mesa Boogie® JP-2C Cleanチャンネル
56	CALI JP B	Mesa Boogie® JP-2C Crunchチャンネル
57	CALI JP C	Mesa Boogie® JP-2C Distortionチャンネル
58	PETHEY SATCH CL	Peavey® JSX Cleanチャンネル
59	PETHEY SATCH CR	Peavey® JSX Crunchチャンネル
60	PETHEY SATCH UL	Peavey® JSX Ultraチャンネル
61	CUSTOM 100 Ch1	Custom Audio Amplifiers® PT100 Cleanチャンネル
62	CUSTOM 100 Ch2	Custom Audio Amplifiers® PT100 Driveチャンネル
63	CUSTOM 100 Ch3	Custom Audio Amplifiers® PT100 Distortionチャンネル
64	Mr. SMITH CL	PRS® ARCHON Cleanチャンネル
65	Mr. SMITH DS	PRS® ARCHON Distortionチャンネル
66	TAXIDEA TAXUS A	Suhr® Badger 30 Driveチャンネル
67	TAXIDEA TAXUS B	Suhr® Badger 30 Distortionチャンネル
68	ACOUSTIC 1	アコースティックギターシミュレーター1
69	ACOUSTIC 2	アコースティックギターシミュレーター2
70	ACOUSTIC	アコースティックギターシミュレーター3
71~80	3EMPTY	追加のアンプモデルをインポートするためのスロット

パラメータ	説明
Gain	歪みの強さを調整します
Bass	低域の出方を調整します
Mid	中域の出方を調整します
Treble	高域の出方を調整します
Pres	トップエンドを調整します
MST	音量を調整します

CAB		
MODEL NAME		Description
1	US DLX 112	Fender® 65 Deluxe reverb 112キャビネット
2	US TWN 212	Fender® 65 Twin Reverb 212キャビネット
3	US BASS 410	Fender® 59 Bassman 410キャビネット
4	SONIC 112	Fender® Super Sonic 112キャビネット
5	BLUES 112	Fender® Blues Deluxe 112キャビネット
6	1960 412	Marshall® 1960A 412キャビネット
7	EAGLE P412	ENGL® Pro XXL 412キャビネット
8	EAGLE S412	ENGL® Vintage XXL 412キャビネット
9	MARK 112	MESA/Boogie® Mark 112キャビネット
10	REC 412	MESA/Boogie® Rectifier® STD 412キャビネット
11	CITRUS 412	Orange® PPC412キャビネット
12	CITRUS 212	Orange® PPC212キャビネット
13	SLOW 412	Soldano® SLO 412キャビネット
14	DR.ZEE 112	DR.Z® Maz 112キャビネット
15	DR.ZEE 212	DR.Z® Z-Wreck 212キャビネット
16	JAZZ 212	Roland® JC120 212キャビネット
17	UK 212	VOX® AC30 212キャビネット

CAB

MODEL NAME		Description
18	HWT 412	Hiwatt® AP412キャビネット
19	PV 5050 412	Peavey® 5150 412キャビネット
20	REGAL TONE 110	Tone King® Falcon 110キャビネット
21	TWO STONES 212	Two Rock® 212キャビネット
22	CARDEFF 112	Two Rock® 112キャビネット
23	EV 5050 412	EVH® 5150 412キャビネット
24	HT 412	Blackstar® HTV 412キャビネット
25	GAS STATION 412	Diezel® Hagen 412キャビネット
26	CUSTOM 212	Custom Audio® 212キャビネット
27	US GOLD 412	Friedman® 412キャビネット
28	CALI 412-1	MESA/Boogie® Recto Trad 412キャビネット
29	PETHEY 412	Peavey® 6505 412キャビネット
30	Mr. SMITH 112	PRS® Archon 50 Combo 112キャビネット
31	TAXIDEA TAXUS 112	Suhr® 112キャビネット
32	ACOUSTIC 112	112 acoustic guitarキャビネット
33-42	EMPTY	サードパーティIRをロードするためのスロット

パラメータ	説明
Tube	真空管タイプを選択します
Mic	マイクタイプを選択します
Center	スピーカーコーンを中心としたマイキング位置を調整します。値が大きいほど外側となります
Distance	スピーカーとマイキングの距離を調整します。0が最も近くなります
Sync	Cabモデルに合わせてアンプモデルをチェンジするかどうかの設定です
Level	音量を調整します。

NS

MODEL NAME		Description
1	NOISE KILLER	MOOER Micro Noise Killerをベースとしたノイズリダクション
2	INTEL REDUCER	歪みの前に設置するノイズゲート
3	NOISE GATE	歪みの後に設置するノイズゲート

パラメータ	説明
Threshold	ノイズゲートが糖鎖するレベルを設定します。このレベルを下回る時、ゲートが閉じて音を減衰させます。楽器を演奏して設定したレベルを上回るとゲートが開き、音が出力されます
Depth	インテリジェントバックグラウンドノイズサブレッサー、Intel Reducerの設定です。ホワイトノイズをどの程度強く抑制するかを設定します
Attack	ノイズゲートが閉じ始めてからの減衰の速さを調整します。100が最速です
Release	楽器を演奏してノイズゲートが開く速さを調整します。0が最速です

EQ

MODEL NAME		Description
1	MOOER G	ギター用5バンドグラフィックEQ
2	MOOER HM	ベース用5バンドグラフィックEQ
3	MOOER G-6	ギター用6バンドグラフィックEQ
4	CUSTOM EQ	中心周波数を設定でき、±10dBの範囲で設定できるセミパラメトリックEQ

パラメータ	説明
Level	音量を調整します
Lo-CF	ローカットフィルタが動き始める帯域を設定します
Hi-CF	ハイカットフィルタが動き始める帯域を設定します。

FX Loop

パラメータ	説明
Send Level	SENDから出力されるシグナルの音量を調整します
Return Level	RETURNから入力されるシグナルの音量を調整します
Dry / Wet	パラレルモードでは、ドライ/ウェットのバランスを調整できます。100%ウェットではシリアルモードと同様にFX LOOPを通し、100%ドライではエフェクトループはバイパスされます。
Loop Mode	エフェクトループをシリアル(直列)とパラレル(並列)で切り替えます

DELAY

MODEL NAME	Description	
1	DIGITAL	80年代のディレイユニットが作ったクリスタルクリアなデジタルディレイ
2	ANALOG	BBDを用いたコンパクトアナログディレイをモデリング
3	REAL	ナチュラルでリアルなエコー
4	TAPE	70年代のテープエコーサウンド
5	MOD	モジュレーションのかかったデジタルディレイ
6	REVERSE	リバースディレイ
7	PINGPONG	ステレオピンポンディレイ
8	DYNAMIC	楽器のダイナミクスに合わせて音量をコントロールできるディレイ
9	DUAL DELAY	独立したコントロールを持つ2つのディレイ

パラメータ	説明
Feedback	ディレイリピートの回数を設定します
Mix	ドライシグナルとディレイシグナルのバランスを調整します。0でドライ100%、100でウェット100%となります
Sub-D	ディレイリピートタイムをミリ秒単位で調整します また、タップテンポに対して設定されるディレイタイムの倍率(サブディビジョン)を設定します
Threshold (Dynamic)	Dynamicディレイのエンベロープ検出レベルを調整します

REVERB

MODEL NAME		Description
1	ROOM	スモールルームリバーブ
2	HALL	ホールリバーブ
3	CHURCH	巨大な空間のリバーブ
4	PLATE	スタジオスタイルプレートリバーブサウンド
5	SPRING	クラシックなスプリングリバーブサウンド
6	MOD	モジュレーションのかかるリバーブ
7	CAVE	スペーシーなトーンのリバーブ

パラメータ	説明
Pre Delay	最初の反響が聞こえるまでの時間を調整します
Length	スプリングタンクの長さを調整します
Level	音量を調整します
Decay	リバーブの長さを調整します
Tone	音色を調整します

スペック

エフェクトタイプ:	11
エフェクト:	180以上
プリセット:	255
インプット:	1x1/4" mono jack. Impedance: 1 M Ω
アウトプット:	2x1/4" mono jack, impedance: 600 Ω 2xXLR output, impedance: 600 Ω
AUX IN:	1x1/8" stereo jack, impedance: 10 K Ω
ヘッドフォンアウト:	1x1/8" stereo jack, impedance: 24 Ω
EXP2:	1x1/4" TRS jack, for 10k~100k impedance expression pedal
SEND:	1x1/4" mono jack, impedance: 600 Ω
RETURN:	1x1/4" mono jack, impedance:1 M Ω
MIDI:	5pin MIDI female port
USB:	1xUSB TYPE-B port
サンプリングレート:	44.1kHz
サンプリングアキュレーション:	24bit
ダイナミクス:	100 dB
Impulse Response	
Format:	.wav
サンプリングレート:	44.1kHz
サンプリングアキュレーション:	24bit
サンプリングポイント:	2048pts
電源:	センターマイナスDC9V、1Aアダプター (付属)
サイズ:	324mmX162mmX60mm
重量:	1.7kg
付属品:	USB cable, power supply, quick guide

MOOER
www.moeraudio.com
SHENZHEN MOOER AUDIO CO. LTD
6F, Unit D, Jinghang Building, Luxian 3rd Road,
Bao'an 71 District, Shenzhen, China. 518133